

令和4年度 第2回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和4年12月23日（金）14時00分～15時10分

開催場所 彦根勤労福祉会館 大ホール

出席者 別紙参照

1 開 会

2 議 事

(1) 「第1号議案 補正予算（案）」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 「第2号議案 地域公共交通確保維持改善事業にかかる自己評価」について（資料2）

- ・ 第2号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 資料2について、乗合率が最低で1.1～1.2、最高で目標値に近い1.8の路線が存在するが、もし要因が分かれば教えて欲しい。

● 事務局

- ・ 路線毎の傾向は分からないが、愛のりタクシーは利用が増えると乗合率が上がる傾向にある。そのため、山手線は利用者が少なく乗合率も低い。逆に、たがの3路線は利用者が多く乗合率が高い傾向にある。

(3) 「第3号議案 愛のりタクシーとりいもと、かわせ、まつばらの新規停留所設置等」について（資料3）

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(4) 「第4号議案 令和5年度ご城下巡回バスの運行計画」について（資料4）

- ・ 第4号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 福島委員（滋賀県土木交通部交通戦略課 課長補佐）

- ・ 龍潭寺が運行ルートに入っているのはそこそこ利用があり、観光施設の一つであることから入っていると認識している。
- ・ 良いか悪いか判断しかねるが、今後、彦根城を世界遺産登録していこうというタイミングで観光客が集まるスポットになるであろう、龍潭寺を運行ルートを外すのはどうか。観光協会等と話し合いがあったかを教えて欲しい。

● 北村委員（湖国バス（株） 取締役業務部長

- ・ ご城下巡回バスは 20 年ぐらい前から運行している中で、当初は彦根港を含めたり、広域的な観光地を結んでいた時期もある。
- ・ ご指摘の通り、広域的な観光ルートを結ぶという考え方もあるが、利便性をとるか否かも問題であり、実際に利用されている方からはもう少し本数を増やして欲しいという声が多く、現在の龍潭寺経由の 2 便では利便性を上げられない。
- ・ そのため、現在の利用の多くは彦根城周辺であることから、今回の変更では彦根城周辺の利便性をとることとした。
- ・ 観光協会とは細かいすり合わせをしていないが、日頃からの付き合いもあり、ご理解頂けると思い、提案させて頂いた。

● 事務局

- ・ 湖国バスから事前に相談を受けていた。
- ・ 龍潭寺は佐和山へ行く方も利用できることを見込んで停留所を設けていたが、彦根駅からご城下巡回バスを乗車するほとんどの方は彦根城がメイン。本来彦根城へは直通で 3 分程度で着くが、龍潭寺経由だと 15 分程度となるため、今回の変更で時間短縮につながり利便向上となると認識している。
- ・ 今回の変更で運行本数も増え、求められている需要に近い運行が可能と思っている。

(5) 「報告事項 路線バスだれでも無料 DAY」について（資料 5）

- ・ 資料 5 について、事務局より説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 野口委員（滋賀運輸支局 首席運輸企画専門官）

- ・ P. 24 の改善をして欲しい点の自由記述について、運転手の愛想が悪い、利用しにくいとあるので、事業者は運転手への指導をお願いしたい。
- ・ 停留所が分かりにくいという意見も散見されるので、可能であれば対応して頂きたい。

● 北村委員（湖国バス（株） 取締役業務部長

- ・ 市民からの声を踏まえて、乗務員または事務所員を含めて教育をしていきたい。また、標柱が見にくい意見に対しては事務局と相談しながら進めていきたい。

● 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 顧問）

- ・ 資料 5 では全て件数となっているが、人数のことを指しているのか。
- ・ 問 13 の改善して欲しい点として運賃や便数、停留所の数等の項目をいくつか挙げていますが、本当に実現が可能なものなのか、または改善の見通しがたっているものなのか教えて欲しい。甲良町に住んでおり、甲良線の利用者は少ない中で便数を増やす等にはできないと諦めている。
- ・ ご城下巡回バスと路線バスは性格が違う。路線バスは目的地まで早く着くように利便性が重視されるが、ご城下巡回バスはゆったり楽しめる路線にして欲しい。その代わり、ご城下巡回バスは時刻が遅れることも多いが、ゆったりできればそれで良いと思っており、特色ある路線にしていって欲しい。
- ・ 先日実施された、近江鉄道の全線無料デイレで乗車しようとしても満員で乗れず、次の

便も満員であったが、辛うじて乗車したものの、座ることも出来なかった。無料であればこんなに需要があるのかと思ったが、値打ちが良く分からなかった。

- ・ 路線バスの甲良線を無料にしたところで用事がなければ乗らないと思うので、目的を作って利用を促すような取り組みをして頂きたい。

● 事務局

- ・ 人数という認識で差し支えない。
- ・ ご城下巡回バスについて、利便性を重視するだけでなく、ゆったりと楽しむことも重要であることは理解している。湖国バスから説明があったが、利用者が減っている中で今のまま運行を続けるのではなく、何かしら改善をしていく必要があると考えている。色々な対策ができれば良いが、まずは便数を増やして利便性を向上させることで、彦根駅からの利用者に対して迷わず彦根城に行ける環境を作ることが先決と思っているため、ご理解をお願いしたい。
- ・ アンケート調査結果をみると、公共交通に対する期待感は強く、便利になればもっと使いたいという方が多いと認識している。主にお金の問題で便数を増やしたり、停留所を増やしたりできないのが現状である。ただし、事務局としては色々対策を提案していきたいと考えており、そのためにはどのようなことが求められているかを把握しておくことが重要であると考えている。
- ・ 近江鉄道の無料デイは関係者全員が予想できなかったほどの利用があり、驚いているところである。路線バスも昨年、今年と無料 DAY を実施し、新しいお客様も利用して頂いたところであるが、近江鉄道は無料であれば利用して頂けるため、期待感や利用できる目的（場所）があると感じた。また、平日頃から無料にしたときに利用に繋がるような路線バスの運行をしていく必要があると改めて認識したところである。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 問 10 や 13 に時刻表や路線についても項目があり、要望でも Google マップでの検索が書かれているが、日経新聞に彦根市は Google でルート検索ができ、今後は滋賀県全体に広げたいと掲載されていたが、実際に検索が可能なのか。

● 事務局

- ・ 湖国バスの取り組みで時刻表データを検索サイトへ情報提供しているため、湖東圏域で運行している湖国バスの路線バスは Google マップ上で検索可能である。ただし、協議会では周知を行っていないため、周知方法も含めて検討していきたい。

● 野村委員（（社）滋賀県バス協会 専務理事）

- ・ 改善点のやり取りに関連して、要望の内容を見ると湖東圏域全体を言っている場合と個別部分を言っている場合がある。
- ・ アンケート調査は個別の質問を行った後で要望を聞く流れであると認識しているが、どこまで対応できるかも含めてこの要望を分析できているのか。要望を書くということは期待感を持っているため、今後の施策を出す上で活用できないといけない。

● 事務局

- ・ 現時点では本日の資料内容が報告の全てであり、主にアンケート調査結果の概略を報

告することを目的に傾向を把握するための集計を行った。

- ・ 主に便数に対する改善が多いと読み取れるが、この要望をした利用者がどの路線を利用しているか等、今後具体的な検討をする中でクロス集計などの詳細な分析をしていきたい。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ アンケート調査の回答は件数が正しい。実際はグループの代表者のみが回答しているため、回答している人の意見と捉えないといけない。
- ・ 今回の路線バスの回答者は域内利用者（湖東圏域内）が多いが、近江鉄道は域外の人も多く入ってきたと推測される。路線バス無料 DAY は土日祝日を対象にしているにもかかわらず、回答者は域内が多いため、普段の通勤、通学、買い物ではなく、市民の観光等での移動であることに注意する必要がある。
- ・ 今回のアンケート調査結果は域外の人々の回答も活用できると思うが、回答者は 6%でもあるため、路線バスのターゲットをどう絞るかも重要である。
- ・ 事務局として今回の利用者数や利用者属性は狙い通りであったのか。

● 事務局

- ・ 今回の企画は土日祝であるが、周知方法が各市町の広報で行ったため、周知範囲は圏域内に限られた。そのため、今回のような利用結果になったと推測している。
- ・ 土日に実施するため、域外の方にも積極的に利用して欲しいが、域外を対象とした周知方法が課題として残っている。課題を解決することで、域外の方にも広く利用して頂きたいという思いはある。
- ・ 利用促進を目的とした企画であるが、普段路線バスを利用されない方でも今回の企画（無料であること）で家族やグループで利用されているため、一定の効果はあったと認識している。
- ・ 今回のアンケート調査結果を今後の路線バス運行にどのように活用していくかは、属性も取れている訳ではなく、土日の観光等での利用といった制約もあるため、全体の意見を代表しているものではないと思っている。そのため、路線バスの改善には別途、湖東圏域の住民を対象に再度、アンケート調査を実施する必要があると考えている。

● 福島委員（滋賀県土木交通部交通戦略課 課長補佐）

- ・ 同時期に東近江市のちょこっとバスも無料の企画をされており乗車したが、アンケート等の利用実態を把握する調査がなく、残念だと思っていたところである。
- ・ ただ、資料の P.5 に東近江市の利用が一定数存在するが、湖東圏域に紛れている理由を教えて欲しい。

● 事務局

- ・ 説明不足で申し訳ないが、湖東圏域と東近江市を運行している角能線があるため、湖東圏域と東近江市の合同で実施したものである。そのため、ちょこっとバス車内にも湖東圏域のアンケート調査票を置いてもらったことにより、東近江市の回答が寄せられている。

● 福島委員（滋賀県土木交通部交通戦略課 課長補佐）

- ・ P. 17～18 の問 11 と問 12 は、これまで路線バスを利用されていない人とのクロス集計であるが、いずれも企画の際に利用すると回答している。
- ・ この意味は、何かしら目的があれば利用すると回答しているのか、無料でないと乗らないと回答しているのか解釈が難しいが、事務局としてはどう捉えているのか。

● 事務局

- ・ 無料だから乗った方が一定数いることは想定しており、実際もそのような結果であると認識している。
- ・ 無料でしか乗らない人が路線バスに乗ってくれたと肯定的に評価して良いのではないかと考えており、その中で路線や時刻表、行き方等の継続的な周知を行い、これだったら乗ってみようかと意識を変えていくことが必要と考えている。
- ・ 今回の企画がなければ、ずっと路線バスを利用しないことになり、路線がどこを走っているか、停留所の場所等すらも知らない方が、乗車経験をして頂けたと肯定的に捉えている。

（６） その他

- ・ 次回第３回総会は例年通り３月を予定しており、詳細は後日調整する旨の連絡があった。

３ 閉 会

以上